Q&A 一般質問

山下（やました） 真司（しんじ） 議員
自民党市政会

質問の様子はこちら！

犯罪被害者等への支援のための条例制定を

Q 被害者の権利や利益の保護を目的とした犯罪被害者等支援に関する条例制定が全国の市区町村で進んでいる。本市での条例制定等についての考えを伺う。

A 犯罪被害者等への公的支援は、警察庁の犯罪被害給付制度のほか、香川県では遺族見舞金や重傷病見舞金の支給に加え、法律相談などを盛り込んだ犯罪被害者等支援条例が施行されています。

本市では犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復や軽減を図り、犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができる社会を実現することを目的とした、条例案を今年度中に議会に示し、令和7年4月の施行を目指していきます。

（市長）

消防団員応援制度の現状は

Q 平成28年に香川県消防協会から消防団員に会員証が発行された。消防団員応援制度の使用状況・登録店舗数について伺う。

A 「消防団員応援事業所制度」は、公益財団法人香川県消防協会が平成28年1月から主体となり実施している事業で、現在、坂出市では165店舗が登録されています。数件の新規登録はあるものの、制度開始当初の198件から33件の減少となっています。

利用状況を把握することは困難ですが、この制度を消防団員が活用することで、優遇サービスを受けられるだけでなく、地域での消防団活動に理解が深まることや消防団員の入団促進、さらには地域経済の活性化への貢献にもつながることから、今後も団員に対して本制度の積極的な活用を周知し、併せて新規登録の促進を実施していきます。

（消防長）

質問の主な項目
- 結婚支援について
- 空き家対策について

鳥飼（とりかい） 由衣（ゆい） 議員
政志会

質問の様子はこちら！

移動式の期日前投票所の設置を

Q 若い世代が投票しやすい学校や坂出駅周辺、また、島しょ部に移動式期日前投票所を設置してはどうかと考えるが、いかがか。

A 移動式期日前投票所は、投票所への交通手段の確保が難しい人の投票機会の確保のほか、利便性の向上、高校などで実施することによる若者の政治意識の向上などに有効な取組と認識しています。

しかし、導入にあたっては新たな経費が発生し、学校との調整も必要です。島しょ部への設置については、今後市全域で投票区が見直される際に、投票の機会を確保するための代替手段として、移動式期日前投票所の必要性や可能性について検討していきます。

（選挙管理委員会事務局長）

小学校で公共交通に関する学習を

Q 小学生が路線バスに親しみを持ち、公共交通の利用を促進するため、小学校の授業の一環で公共交通に関する学習をしてはどうか。

A 児童生徒が地域の公共交通機関に親しみを持ち、その利用を促進することは、単なる交通手段の理解にとどまらず、地域や社会とのつながりを考える学習として非常に有意義です。

現在、学校所在地が路線バスを利用できる小学校では、バスを活用した大橋記念図書館での図書館学習、坂出市消防本部や交流の里おうごしなどでの校外学習を実施しています。この取組では、児童が実際にバスを利用することで、利用方法や利用マナーなどを学ぶとともに、公共交通の利便性や意義を体感しています。

今後も学校や公共交通機関の事業者と連携し、児童が楽しみながら学びを深めることができるよう、学習活動の在り方について指導・助言を行います。

（教育長）

質問の主な項目
- 香川県広域水道企業団中讃ブロック統括センター旧坂出支所庁舎について